Miyazaki International College

Course Syllabus

|  |  |
| --- | --- |
| Course Title ( Credits ) | EDU310：特別活動論Special Activities (2 credits) |
| Course Designation for TC | 教員の免許状取得のための必修科目  【科目】  道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目  【各科目に含める必要事項】  特別活動の指導法 |
| Content Teacher | |
| Instructor | 中原 邦博（単独） |
| E-mail address | knakahara@edu.miyazaki-mic.ac.jp |
| Office/Ext | 1-210 |
| Office hours | オフィスのドアに記載されています。 |
| Language Teacher | |
| Instructor |  |
| E-mail address |  |
| Office/Ext |  |
| Office hours |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Course Description: | | |
| 【全体目標】  特別活動は、学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動の総体である。  学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。  特別活動は、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達や個性の伸長、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的･実践的態度を育てるとともに、自己の生き方について考えを深める能力を養う時間である。この授業では、特別活動の趣旨や目標、教育的意義について概観し、各教科、道徳、総合的な学習の時間との関連について考察する。その上で、具体的な実践事例の検討や、指導計画の作成等を通して、実践的指導力を身に付けさせる。授業形態は講義とする。アクティブラーニングとして、振り返り、個別の質疑応答、グループディスカッション、小テストなどを取入れる。 | | |
| Course Objectives: | | |
| 【一般目標】  (1)特別活動の意義、目標及び内容  特別活動の意義、目標及び内容を理解する。  (2)特別活動の指導法  特別活動の指導の在り方を理解する。  【到達目標】  (1)特別活動の意義、目標及び内容  1)学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を理解している。  2)教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を理解している。  3)学級活動・ホームルーム活動の特質を理解している。  4)生徒会活動、学校行事の特質を理解している。  (2)特別活動の指導法  1)教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方を理解している。  2)特別活動における取組の評価・改善活動の重要性を理解している。  3)合意形成に向けた話合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導の在り方を例示することができる。  4)特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解している。 | | |
| Course Schedule | | |
| Day | Topic | Content/Activities |
| 1 | オリエンテーション、特別活動とは何か、改訂の趣旨に関する学習 | (1)オリエンテーション  (2)特別活動改訂の趣旨及び要点  〔中･高学習指導要領解説 特別活動編　第１章〕  （目標（(1)-1),2),(2)-1)） |
| 2 | 「特別活動の目標」に関する学習 | (1)特別活動の目標、特別活動の目標と各活動・学校行事の目標との関連について  (2)特別活動における「主体的･対話的で深い学び」』の実現について  〔中･高学習指導要領解説 特別活動編　第２章第1節〕　　（目標（(1)-1),2),(2)-1)） |
| 3 | 「特別活動の基本的な性格と教育活動全体における意義」に関する学習 | (1)人間形成と特別活動について  (2)特別活動の教育活動全体における意義について  (3)特別活動の内容相互の関連について  (4)特別活動と各教科・道徳科及び総合的な学習の時間などとの関連について  〔中･高学習指導要領解説 特別活動編　第２章第2節〕　　（目標（(1)-1),2),(2)-1)） |
| 4 | 「学級活動・ホームルーム活動の目標と内容及び指導計画」に関する学習 | (1)学級活動・ホームルーム活動の目標について  (2)学級活動・ホームルーム活動の内容について  (3)学級活動・ホームルーム活動の指導計画  (4)学級活動・ホームルーム活動の内容の取扱いについて  〔中･高学習指導要領解説　特別活動編　第３章第１節〕　（目標(1)-1),3),(2)-1),3)） |
| 5 | 「生徒会活動の目標と内容及び指導計画」に関する学習 | (1)生徒会活動の目標について  (2)生徒会活動の内容について  (3)生徒会活動の指導計画について  (4)生徒会活動の内容の取扱いについて  〔中･高学習指導要領解説　特別活動編　第３章第２節〕　（目標(1)-1),4),(2)-4)） |
| 6 | 「学校行事の目標と内容及び指導計画」に関する学習 | (1)学校行事の目標について  (2)学校行事の内容について  (3)学校行事の指導計画について  (4)学校行事の内容の取扱いについて  〔中･高学習指導要領解説　特別活動編　第３章第３節〕　（目標(1)-1),4),(2)-1),4)） |
| 7 | 「指導計画の作成に当たっての配慮事項」に関する学習 | (1)特別活動における生徒の主体的･対話的で深い学びについて  (2)特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画について  (3)学級経営の充実と生徒指導との関連について  (4)障害のある生徒など学習活動の困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫について  (5)道徳科との関連について  〔学習指導要領解説　特別活動編　第４章　第1節〕　　　　（目標(1)-1),2),(2)-2),4)） |
| 8 | 「内容の取扱いについての配慮事項」に関する学習 | (1)生徒の自発的、自治的な活動の効果的な展開について  (2)指導内容の重点化と内容間の関連や統合について  (3)ガイダンスとカウンセリングの趣旨を踏まえた指導を図る  (4)異年齢集団や幼児、高齢者、障害のある人々や幼児児童との交流を通して、協働することや社会に貢献することの喜びを得る活動の重視について  〔学習指導要領解説　特別活動編　第４章　第2節〕　　　　（目標(1)-1),2),(2)-2),4)） |
| 9 | 入学式や卒業式などにおける国旗及び国歌の取扱い | (1)最高裁判例等の資料を踏まえた指導について  (2)中間テスト  〔学習指導要領解説　特別活動編　第４章　第3節〕　　　（目標(1)-1),2),(2)-1),4)） |
| 10 | 「特別活動の指導を担当する教師」「特別活動における評価」に関する学習 | (1)「特別活動の指導を担当する教師」について  〔学習指導要領解説　特別活動編　第４章　第4節〕　　　（目標(1)-1),2),3),4), (2)-1),2),3),4)）  (2)「特別活動における評価」について  〔学習指導要領解説　特別活動編　第４章　第5節〕　　　（目標(1)-1),2),3),4), (2)-1),2)） |
| 11 | 「学級活動・ホームルーム活動の指導方法」に関する学習及び評価その１ | (1)「学級や学校における生活づくりへの参画」の指導事例  (2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の指導事例  （目標(1)-3), (2)-2),3)） |
| 12 | 「学級活動・ホームルーム活動の指導方法」に関する学習及び評価その２ | (1)「一人一人のキャリア形成と自己実現」の指導事例　　（目標(1)-3), (2)-2),3)） |
| 13 | 「生徒会活動の指導方法」に関する学習及び評価 | (1)生徒総会の指導と評価の実際 |
| 14 | 「学校行事の実際」に関する学習及び評価その１ | (1)儀式的行事：卒業式の指導と評価の実際  (2)文化的行事：文化祭の指導と評価の実際  （目標(1)- 4), (2)- 2),3),4)） |
| 15 | 「学校行事の実際」に関する学習及び評価その２ | (1)健康安全・体育的行事：体育祭の指導と評価の実際  (2)授業のまとめと学習評価及び自己評価等  （目標(1)- 4), (2)- 2),3),4)） |
|  | 期末試験 |  |
|  | | |
| Required Materials: | | |
| テキスト：『中学校学習指導要領解説　特別活動編』（最新版）、『高等学校学習指導要領解説　特別活動編（最新版）』（文部科学省刊）  参考書：なし | | |
| Course Policies (Attendance, etc.) | | |
| 教職を目指す学生として教員の崇高な使命をよく理解するよう努めることが肝要である 。 授業は欠席や遅刻をすることなく 積極的に参加するように心がけること。 特に、 時間に凡帳面であることと、 日常生活の態度 （ あいさつ、 身なり 、 言葉遣い等） には気をつけること。 教員採用試験に向けて教職教養の勉強をしっかり して力をつけること。 | | |
| Class Preparation and Review | | |
| 事前・事後学習として週４時間以上行うこと。  事前学習：毎回講義の最後に次回の講義項目を伝えるので、必ず事前にテキストあるいはプリント等の予習をし、不明な点を調べておくこと。  事後指導：講義内容に関するレポートや小テストを課すので、解答して正解を確認した上でファイルしておくこと。 | | |
| Grades and Grading Standards | | |
| 定期試験７０％、レポート３０％とし、総合的に評価する。 | | |
| Methods of Feedback: | | |
| レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。  ・コメントを記載して返却する。  ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。  ・答案例を配布する。 | | |
| Diploma Policy Objectives: | | |
| Work completed in this course helps students achieve the following Diploma Policy objective(s):  3. The ability to identify and solve problems  4. Advanced communicative proficiency in both Japanese and English | | |
| Notes: | | |
|  | | |